

INATSUKA
Kiichi

メインキャスター
稲塚 貴一



TSUJITA
Momoko

メインキャスター
辻田 桃子



TOKESHI
Akiho

スポーツキャスター
渡慶次 秋穂



YUKI
Kota

気象予報士
結城 弘汰



TOKIGAWA
Rino

メインキャスター
時川 莉野



毎週 月〜金
6:10PM START

NHK
熊本放送局

みんなで解決!

MC
佐藤 茉那

SATO MANA
NHK熊本アナウンサー
あまび〜とともに
熊本をよくしていくこと
日々がまだしている。



あまび〜

AMABEE
人を元気づけるのが得意ワザ。
熊本を心踊して出現した。
みんなのお悩み・キモンを
NHKとともに解決する
ピットボス!

身近なキモンの
お悩みを
解決!

NHK
熊本放送局

「クマロク!」や金曜夜間の番組で随時放送 (毎週月曜〜金曜 午後6時10分)

体感防災教室

NHKと専門家が
地域に潜む災害リスクを徹底チェック!
NHKの技術で、“災害を疑似体験”

体験校募集中!
過去の授業の様子はこちら→

<https://www.nhk.or.jp/kumamoto/suigai/index.html?cid=gkhk-evqc-20220903>



NHK 熊本放送局 〒860-8602 熊本県熊本市中央区花畑町5番1号
096-326-8203 (代表) 月曜日〜金曜日 午前10時〜午後5時
(土・日・祝日・年末年始12月29日〜1月3日は除く)

熊本放送局の
ホームページは
こちらから

<https://www.nhk.or.jp/kumamoto/>



NHK
熊本放送局

みんなで助かるために、
いま、できることを

防災



ハンドブック

Bosai Hand Book

保存版

水害から
命と暮らし
を守る



稲塚 貴一アナウンサー



NHK 全国ハザードマップ

Risk Map in Japan

NHKでは1,000年に1度の雨に対応した浸水想定データを全国より集積し全国ハザードマップを作成しました。約2,200の洪水予報河川・水位周知河川、その他の中小河川の一部も掲載。ぜひ、お手元のスマートフォンやパソコンで気になる場所のリスクを確認してみてください。

※詳しい使い方は、下記をご覧ください。



※内水氾濫は含まれません。

全国ハザードマップの使い方

スマートフォンでご利用になる場合



最新ニュース、天気、各地の災害情報や

新型コロナウイルス 避難のポイント

複数の避難先を用意しよう

感染対策として密にならないように自治体の避難場所以外にも避難先を探して

マンションの高層階では **在宅避難** も



感染対策グッズを持って行こう

非常用持ち出し袋に入れる3点セット



避難所では他の人と距離をとって

- ✓ 間仕切りで **距離をとる**
- ✓ 背中を向けて座る
- ✓ 定期的に **換気**
- ✓ こまめに **手洗い** と **消毒**



車中泊はリスクがあります エコノミークラス症候群に注意

やむを得ないときは

- ✓ なるべく **足を上げて過ごす**
- ✓ **水分補給**
- ✓ 定期的に **足の運動**
- ✓ 寝る時は **服をゆるめる**



感染が不安な人も危険が迫ったらためらわず避難場所へ!

水害のあと片付け前に写真を撮影

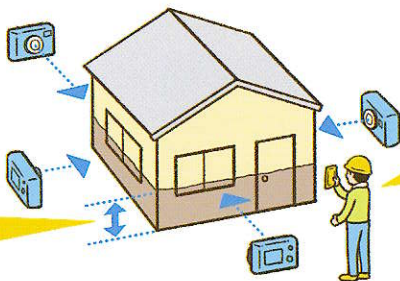
り災証明書の取得 保険金の請求などで
トラブルを避けるために
被害の状況を記録に残しましょう



必要だと思う
枚数の3倍は
撮影を！

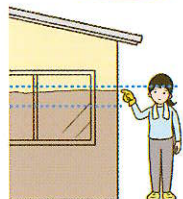
家の外から

浸水の深さが
わかるように
撮影



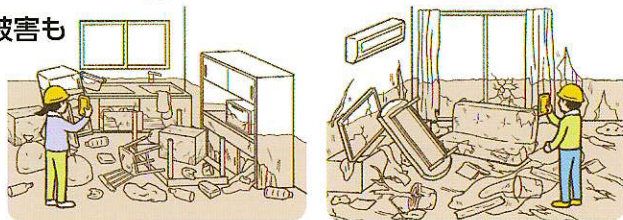
スマホや
カメラで
できるだけ
4方向から
撮影

メジャーを当てたり
人に立ってもらって
浸水の深さがわかりやすい



被害が出た部屋はすべて

部屋の全体像がわかるように撮る
天井や床、壁の被害も



住宅設備 家具 屋外設備も

家具はメーカーや製品番号も撮影する



知る

想像
する

逃げる



全国ハザードマップ

<https://www.nhk.or.jp/campaign/w-hazardmap/>



※ サイト内容は一部変更になる場合があります。

避難情報をお届けします。

NHK
ニュース
防災



ハザードマップ 今すぐ確認！

1 自宅・職場の場所 をチェック

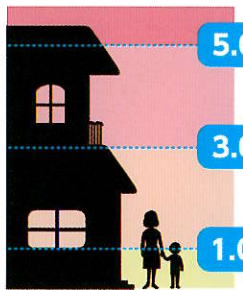
色が塗られていたら
浸水リスクがあるということ避難が必要です



! 色が塗られていなくても油断しないで！
ハザードマップが整備されていない場所もあります
川の近く・周辺より低い土地は注意を

身の回りの
リスクを
確認しよう！

2 浸水の深さ をチェック



2階が水没

5.0m

過去の被害では
自宅で亡くなった人も
多くいました

1階が水没

3.0m

浸水すると
部屋の中の移動や
階段を上がることも困難です

床上浸水

1.0m

特に **高齢者は早めの避難**を

3 のマークは要注意



は **家屋倒壊等氾濫想定区域**

家ごと流される危険があるので
自宅にとどまらずに
必ず安全な場所に避難を

ハザードマップは
インターネットで
確認できます



自治体の窓口でも
入手できます

- ✓ 重ねるハザードマップ
- ✓ わがまちハザードマップ
- ✓ 自治体のHP
- ✓ NHKニュース防災アプリ

川の氾濫 避難のポイント

大河川

- ✓ 氾濫発生 **広い範囲** が **長時間** 浸水するリスク
- ✓ 支流から水が集まる **時間差** で水位が上昇

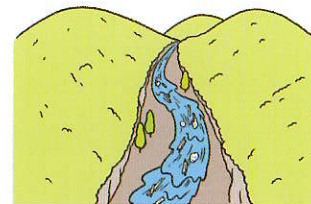
2019年の台風19号では8つの河川で大雨特別警報の解除後に氾濫が発生
阿武隈川で9時間20分後 都幾川で8時間20分後でした



浸水が
始まる前に
避難して！

中小河川

- ✓ 山地では川幅が狭く 勾配が急
- ✓ 水位が **短時間** に **急激** に上昇
- ✓ 大量の **土砂** や **流木** が流れ被害が大きくなる



避難のタイミング

- ✓ **避難指示** で避難を
- ✓ 移動に時間がかかる人は **高齢者等避難** で避難を
避難情報が解除されるまで安全な場所で避難を続けて



大雨が降ったら避難のポイント

川から離れて！

中小河川や都市部の河川は短時間で急激に水位が上昇することも

氾濫してからでは逃げられません！

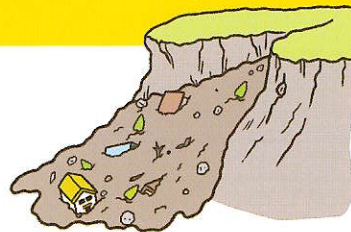


早めの行動が命を守ります！

斜面や崖から離れて！

土砂災害警戒区域の外に避難を

避難場所が遠い場合は無理をせず近くの鉄筋コンクリートの建物へ



地下から出て！



一気に水が集まる危険がある

地下街 地下室 地下駐車場などから
すぐに地上へ

外の様子を把握するため こまめに情報収集を

田んぼ 用水路を見に行かないで！

心配な気持ちはわかりますが 近づかないでください

高齢者を中心に 様子を見に行くと犠牲になるケースが後を絶ちません

家族も行かないよう **声をかけて！**



土砂災害から避難する3つのタイミング

避難指示が出たら

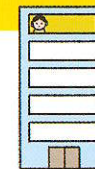
危険な場所にいる人は全員避難
避難に時間がかかる高齢者などは
高齢者等避難 で早めに避難を



避難のスイッチを決めておこう！

土砂災害警戒情報が出たら

土砂災害がいつ起きてもおかしくないことを伝える情報
避難場所が遠い場合 近くの鉄筋コンクリートの建物に
気象庁と都道府県が発表



前兆に気づいたら即避難

土石流



- ・ 溪流の水位が急に減少
- ・ 地鳴り(ゴーという音)
- ・ 土臭いにおい

がけ崩れ



- ・ 湧水の停止、吹き出し
- ・ 斜面に亀裂が発生
- ・ 斜面のふくらみ
- ・ 小石がポロポロ落下

地すべり



- ・ 亀裂や段差の発生、拡大
- ・ 樹木の傾き
- ・ 地面の震動
- ・ 地鳴り
- ・ 山鳴り

2階以上で 斜面と反対の部屋に 避難して！



外に出るのが危険なときは
垂直避難が最後の手段
少しでも安全な場所へ移動を

土砂災害の 危険がある場所



歩いて避難 ここに注意

長靴は履かない!



ヘルメットなどで頭を保護

両手があくリュックが○

持ち出す非常用グッズは必要最低限に

足元を確認するための傘や杖など

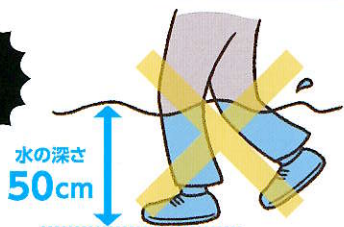
けがを防ぐため 長袖・長ズボン

履き慣れたスニーカー○
水が入ると動きにくい長靴×

周囲の状況が悪くなる前に行動して!

冠水した場所を通らないで!

危険



膝の高さ(約50cm)を超えると歩くのが困難

水に流れがある場合は浅くても簡単に流される

足元を確認して慎重に進んで!

濁った水の中は道の状況がわからず危険

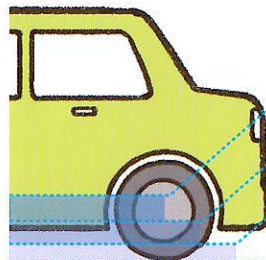
傘や杖で確かめながらできるだけ**2人以上**で行動



車で避難 ここに注意

冠水した道路は避けて!

車だから大丈夫と思わないで!



50cm 車体が浮く 流される

30cm エンジン停止

10cm ブレーキ効きにくい

流れがある場所では水深が浅くても簡単に流される

アンダーパスに注意を!

浸水に気づかず進入し水没するケースが多い
脱出用の工具を備えておこう



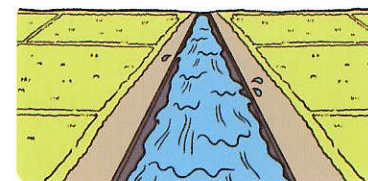
脱出ハンマー



川沿い 田んぼの近くは通らないで!



川から水があふれ道路の崩壊 陥没で転落の危険



増水で用水路と道路の境界が見えず転落の危険

無理に出勤・帰宅しないで

2019年の台風19号では屋外での死者の**40%**が車での移動中でした
特にマイカー利用者の多い地方での犠牲者が多く
出勤や帰宅の時間をずらしていれば助かった可能性もあります